

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年11月30日

事業所番号	2772202012	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	株式会社 オーナーズ	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム ジョイフル小路	評価調査日	平成 21 年 11 月 27 日
所在地	大阪市生野区小路東四丁目5番16号 電話 06-6751-1419	評価確定日	平成 21 年 12 月 2 日

【情報提供票より】 (平成21年11月10日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成17年10月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 9人
職員数	9 常勤 6人 非常勤 2人 常勤換算 8人

## (2) 建物概要

建物の構造	単独型 鉄骨造 4階建の1階部分
-------	---------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	42,000円より	その他の経費	35,000円	
敷金	無 ( )			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 200,000円	償却	有	
	期間 5年償却			
食材料費	朝食	250円	昼食	400円
	夕食	530円	おやつ	150円
	または1日当たり	1,330円		

## (4) 利用者の概要 10月現在

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	79才	最低	64才	最高	89才

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	東和病院
---------	------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームでの生活状況は大阪市内で、何処でも見受けられる人々の生活状況とそっくりで、ホームは利用者の方々に、安心と楽しい雰囲気を提供している。職員は全員が3年から12年の介護経験があり、中には、ホームでの勤続年数が設立以来の方も居る関係で、利用者一人ひとりの症状を詳しく把握して記録され、それを、日々の介護に活かしている

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	地元自治会に加入し毎月、会費も払っている。回覧板から得る情報もあり、各種行事には参加できるものには参加している。珍しいことは、毎金曜日の午後から近所の銭湯で、自治会による割引料金の入浴日となっており、希望される利用者は男女共職員と一緒に入浴し、近隣の方々と文字通り裸の付き合いが行われ、自治会行事への意欲が出て、参加されている方も居る 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
重点項目②	ホームでは、外部評価の当初から、評価結果表を基に、日頃の反省と改善への取り組みの会議を重ねている。今回は統括リーダーの職員が、日頃から前回の評価に沿った反省と、職員との対話から、評価項目の作成を行った。それが、リーダー自身にはレベルアップの機会にもなり、日々意欲を持って励んでいる
	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
重点項目③	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催され席上、業務報告を主とした説明、質疑をしている。又、出席者から情報提供を頂き、介護向上の参考とさせて頂いている
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
重点項目④	ご家族からのご意向でも、ホームの生活に安心して頂いている様子が伺え、毎月の定例文書で必要事項の説明も行っている。更に、来訪時には詳細な説明を行っており、ご家族アンケートでも満足と安心の集計結果が表れている
	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営推進会議にご出席の委員さんからの情報提供、自治会からも回覧板等で知らせて頂いている。自治会による銭湯入浴は毎金曜日に、ホームからも、男女別で希望者に職員が付き添って参加し、近隣の方々と裸の情報交流が出来、日常の散歩中でも適宜に挨拶を交換している

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域のなかで家庭的な環境の基に普通の生活を送って頂けるよう支援します」を理念として掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員との定例会議は毎月1回、朝10時から開催し、理念の実践にチームとして取り組んでいる	○	職員は良く纏まって介護が行われております。思いやりの心を常に持ち続けてください
<b>2 地域との支えあい</b>					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	地域の方々とは何かにつけて、ご挨拶、対話を行って交流に努めている		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	日頃から外部評価を活かすように努めて、チームとして検討を行っている		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	2ヶ月ごとの開催に努めている。会議で各種情報を頂き、介護に活用している		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議での情報を活かして向上に取り組んでいる		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月の定期的な文書での報告と、必要時には電話での説明をしている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来訪時にご意見、ご苦情を承るよう努めている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、職員のストレス緩和に常に配慮し、対話に努めている。職員9名中、5年以上の介護経験者は8名である		

## 5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、職員のレベルアップに配慮し研修、資格取得を積極的に応援している。日常的にも来所して、対話と交流に努めている		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	職員は外部研修会等で、近隣の同業者の職員との交流を図り、ケアレベル向上への機会としている		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員は本人、ご家族と馴染みの関係作りを重視して活動している		
--	-------	--	-------------------------------	--	--

## 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、縁があってお世話させて頂いているとの思いで、利用者と共に毎日を送っている		
--	-------	--	--	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は一人ひとりの思いを大切にして、把握するよう努めている		
--	-------	---	-------------------------------	--	--

## 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	一人ひとりについて職員の共有情報として管理し、毎日の介護に活かしている		
--	-------	--	-------------------------------------	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画期間ごとだけではなく、変化に合わせて、職員間でも確認し、関係者と話し合いで、計画を作成している		

### 3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、ご家族の事情に合わせて必要な支援をしている		
----	----	---	--------------------------	--	--

### 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	ホームの契約医師による週1回の往診を頂き、本人、ご家族、職員と治療方針について、相談をしながら支援している		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の場合には医師と本人、ご家族への説明、方針等を頂き、対応を決めている。そして、職員は情報共有を図っている		

### 1 その人らしい暮らしの支援

#### (1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報とは別室にて管理している。プライバシーと言葉遣いについては、職員同士で注意し合っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合や、決まりを優先するのではなく、一人ひとりの思いに沿うように配慮している		

#### (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	高齢者向けのメニューとしているが、希望にも対応したメニューを適宜に入れて、楽しんで頂いている。食事時の手伝いは下げ膳ぐらいとなって来ている		
----	----	---	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>本人の体調に合わせて入浴して頂いている。週一回金曜日の午後には自治会行事の銭湯への入浴には、行ける方々に、男女別で参加して頂き、入浴、ゲーム等も含めて楽しんで頂いている</p>

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>一人ひとりに楽しみごとを、見付け出して、楽しんで頂いている</p>
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>散歩、買物等希望に合わせて支援をしている</p>

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>ホーム前は車両の通行が頻繁にあるので、ご家族にご了解頂いて、玄関ドアは施錠としている</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>年2回、消防署の指導で避難訓練を実施している。緊急時の避難についての近隣の方々によるご支援についての予測は困難だが、運営推進会議では常に話題としている</p>

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>栄養摂取量、水分補給について、医師の指導のある方には、指示通り支援している</p>
--	----	----	---	--	--

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>共用室は広さに余裕があるので、そこで小運動会を開催している。普段はテレビ、趣味の楽しみを、適宜、職員の指導で行われている</p>
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>個室は自由に家財等を持ち込んで居心地よく過ごして頂いている</p>